

カンボジア支援活動 実施報告書



発行日: 2026年6月22日

発行者: kana lwata (kana.64.Earth)

1. 活動目的

本活動は、アートを通じて子どもたちの創造性と自己表現の機会を創出するとともに、国や文化を超えたアート制作の場を提供することを目的として実施いたしました。

また、寄付活動を通じて日本と現地を繋ぎ、施設の支援を行い、社会貢献活動の可能性を広げる取り組みとして実施いたしました。

2. 実施概要

実施日

2026年5月27日

実施場所

Kamboja Youth Organization

Anchanh Village, Nokor Thom Commune
Krong Siem Reap
Kingdom of Cambodia

参加人数

30名

実施内容

- ・寄付金の贈呈
 - ・夢吹アート®制作体験
 - ・子どもたちとの交流活動
-

3. 活動内容

当日は施設を訪問し、子どもたち30名を対象に夢吹アート®制作体験を実施いたしました。

夢吹アート®は、ストローを用いて色を吹き広げながら制作するアート体験です。年齢や言語、文化的背景を問わず参加できることが特徴であり、子どもたちは自由な発想で作品制作に取り組み、それぞれが個性豊かな表現を生み出していました。

また、施設への寄付金を直接お渡しし、現地スタッフの皆様とも交流を行いました。

【活動費用内訳】

- ・施設への寄付・支援金__20USD
- ・アート製作費 5500×30名 165,000円
- ・交通費(飛行機)67150+84289__円
- ・宿泊費 14,304円(2泊分)
- ・現地交通費 55ドル(トゥクトゥク、バイク)
- ・その他経費(現地通訳、ガイド)250ドル

合計 **382,418円**(1ドル159円換算)

4. 活動成果

本活動を通じて、以下の成果を得ることができました。



- ・30名の子どもたちへ創作体験の機会を提供
- ・言語に依存しないコミュニケーションによる国際交流の実現
- ・子どもたちの主体的な自己表現の促進
- ・現地施設と日本人としての信頼関係の構築
- ・今後の継続的な支援活動に向けた基盤づくり

アート制作の時間では、多くの子どもたちが積極的に作品づくりへ参加し、自ら色を選び、自由な表現を楽しむ姿が見られました。創作活動を通じて自然なコミュニケーションが生れ、笑顔あふれる時間となりました。



5. 所感

今回の活動を通じて改めて感じたことは、夢吹アートには言語や国境を越えて人と人をつなぐ力があるということです。

子どもたちの自由な創造性を発揮するために、アートはとても役にたつ存在だということも感じました。

子どもたちが作品制作に夢中になる姿や、完成した作品を嬉しそうに見せてくれる姿から、自己表現の機会が持つ価値を強く実感しました。

支援とは単に物資や資金を届けることだけではなく、人と人とのつながりを生み出し、お互いの可能性を広げる活動でもあると感じています。

子どもたちに夢を聞いていくと、一人ひとり自分の夢をお話ししてくれました。

先生、軍人、プログラマー、デザイナー、車の会社を作るなどみんなそれぞれ夢がありました。

孤児という枠から解放されて、人として「夢を語り、想いを表現する」ことは自然な事だと思いました。

国という違いの前に【人である】ことに立ち返り、生まれてきた喜びと、これから生きていく希望のある未来を描く。

子供達にとってそんな時間になっていたら嬉しいです。



6. 今後の展望

今後も夢吹アート®を活用した国内外での社会貢献活動を継続し、子どもたち、ハンデのある方々が自由に表現できる機会づくりに取り組んでまいります。

また、企業・団体・個人の皆様と連携しながら、アートを通じた持続可能な社会貢献モデルの構築を目指してまいります。



7. 謝辞

本活動は、ご支援・ご協力いただいた皆様のお力添えによって実現することができました。

心より感謝申し上げます。皆様からお預かりした想いは、確かに現地へ届けることができました。

今後も活動の歩みを報告しながら、一人でも多くの方が自分らしく未来を描ける社会づくりに貢献してまいります。

皆様からお預かりした想いは、確かにここへ届られました。ありがとうございました。

Kana Iwata
kana.64.Earth